

ブルーシート

雨が降りしきる。

ホームレスがブルーシートにくるまつてている。
傘を持った職員がやつてくる

職員 あの
ホームレス ん
職員 あぶないですよ

職員 なにが
ホームレス なにが
職員 雨。知らないんですか、台風来てるんですよ。

ホームレス ああ、大丈夫だよ。これ、あつたかいし。

といい、さらにブルーシートを体に巻きつける。

職員 いや、そういう問題じゃなくて、沈みますよ。ここ。氾濫して。
ホームレス んー：

ホームレス、立ち上がり、近くにあつた缶を地面におき、おもいきり踏みつけてはまた、缶を置いて踏みつける。

職員 あの
ホームレス ん?
職員 なにしてるんですか
ホームレス 仕事。
職員 仕事つてねえ、あなた。
ホームレス しようがないでしょ、生きていけないん

だから。仕事しないと。

そりやまあね、わたしもそうだから
え？

ああ、だから私も仕事なんですよ、避難
させる

ホームレス お偉いさんなの

職員 お偉いさんはこんなとこないですよ、
下つ端ですよ、下つ端。

ホームレス 俺からしたつてあんたもえらいさ。立派
に働いて

ホームレス え？

いや、おれだつて自分じやちやんと働い
てるつて思つてるさ。でも、なんていう
の、縛られたくないんだよ、そういう会
社とか役職とか、みんな、冷たいじやん。
頭固くてさ。

職員 はあ

ホームレス あんたの前にも、年寄りの役所の人が來
てさ、片付けろだのなんだの。

職員 公共の場所ですからね

ホームレス それなら、俺の場所でもあるじやんか。

職員 いや、それは

ホームレス こうしててる方が楽なんだよ、アルミ缶潰
して、好きな時に働いて、そりや稼ぎは
少ないけど、自由だから。

職員 自由なんですか。

ホームレス ああ、自由さ。だから、悪いね、ここが
好きなんだ。人もあんまりいないし、指
さされることもない。

職員 でも、ここにいたら、雨で。

職員

ホームレス

職員

ホームレス

職員

はあ

ホームレス

他にどこに行くのさ。

ホームレス

どつか、あるでしよう：公園とか

ホームレス

公園だつて公共の場所じやん

ホームレス

それでも

嫌なんだよ、ほら、なんかみんな嫌がる
じやん。こないだ、電車乗つたらさ、な
んかみんな違う車両行つちやつて一人貸
切状態みたいな。そんなに臭いかなおれ。

ホームレス

えっ、やっぱり

ホームレス

：せめて、せめてですよ川の氾濫が収ま
るまでは。

ホームレス

わかつた、わかつたから。

ホームレス

え？

ホームレス

こう言わなきや、帰れないんだろ。お役

ホームレス

所仕事つてのは。

ホームレス

いや、そうじやなくて。別に帰つてもい

ホームレス

いんですけど

ホームレス

生きてくださいよ

ホームレス

はあ
僕だつて人間なんですから。
なにそれ、俺が人間じやないみたいな

ホームレス

違います。人間だからですよ、人間だか
ら生きてほしいんです。

職員、傘をホームレスの方にさす

ホームレス

うれしいこというじやねえか、兄さん。

ホームレス、職員の傘に入る

職員 あの、
ホームレス ん？

職員 あ、
ホームレス 臭います

ホームレス、離れる。

職員 いや、ごめんなさい。

職員 いいんだいいんだ。いやあ、珍しい人だ。
あつたかいなあ、いやあ、あつたかい。
ブルーシートくらいあつたかいぞ

といい、ブルーシートにくるまる

職員 ふざけてるんですか
ホームレス ふざけてなんかないさ。わからんないだろ、
あんた、ブルーシートのあつたかさ。真

冬じやこれがないと生きてけねえ。

まだ秋ですよ

職員 だから、これからなんだよ。これが飛ば
ホームレス されちゃ、どのみち死ぬんだ。
うーん

職員 ありがとうございますよ。大丈夫だから。いくら気
ホームレス ままに生きるつたつて、さすがにおれだ
つて命は惜しいさ。

職員 頼みますよ

ホームレス ああ。ま、ブルーシートも惜しいけどな。

雨が強くなる。

職員 じゃ、気をつけて。

ホームレス どうも

職員、去る。

ホームレス、起き上がり、職員がさるのをじつと見る。そして視線を川に移す。雨はざつと降り続く。

ホームレス 寒いよ

ホームレス、ブルーシートに包まり眠る。

溶暗